

消臭対策事例紹介

File No,

D-0001

業種	清掃工場		
施設概要	一般ゴミの焼却施設 ゴミピット		
処理規模	400t/24h (200t/24h×2炉)		
適用製品	消臭用		
使用量	約1L/日		
使用希釈倍率	1,000倍 (基準)		

課題や目的など
 毎日、家庭や事業所から集められる一般ゴミは、投入ステージからゴミピットへ投入されます。当初は、ゴミピットから発生する悪臭を除去する目的で、芳香剤系の薬剤を使用されていましたが、ゴミの臭いと芳香剤の香りが混じり合っ、また違う嫌な臭いになってしまい、特に投入ステージで働く作業員の方々が嫌がっていました。また、夏場になるとハエが大量に発生する課題もありました。

製品提案内容
 一般ゴミの搬入が多い時間帯に合わせて、既設の噴霧システムを使い、美創酵素の希釈水を噴霧することにより、悪臭の除去・抑制およびハエの発生抑制を提案致しました。

使用方法
 (1) 既設の1,000Lタンクに、美創酵素を1Lを入れ、1,000倍希釈液を作る
 (2) 1日のうち、一般ゴミの搬入が多い時間帯に合わせて、タイマー制御によって噴霧する

現場写真・データ



投入ステージの様子



ゴミピット内部の様子



噴霧システム用タンク



微細噴霧中の様子

定期臭気チェック (アンモニア濃度 検知なし)

使用結果・評価

- ・ 今まで使用の消臭剤 (芳香剤系) に比べて、独特の匂いもなく、消臭効果もあるので、作業環境が良くなった。
- ・ 高希釈で使用できるので、経済性も良く使いやすい。
- ・ 今までは、クレーンでゴミを取り上げる度に悪臭が強まっていたが、美創酵素を使用してからはその臭いが大幅に緩和された。
- ・ 施設内のハエが見られなくなった。